

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日午前、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。
 検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモトイが最高で**47,000cells/ml**、ケラチウム属が24cells/ml、シャットネラ属が61cells/ml確認されました。また、昨日の夕方には水産試験場小割付近で**500,000cells/ml**以上のカレニア・ミキモトイも確認されています。

カレニア・ミキモトイが浦ノ内湾の広い範囲で漁業被害が想定される密度を大きく超えており、浦ノ内湾の広範囲で海水の着色が確認され、湾奥部ではスズキやボラなどの天然魚のへい死も確認されました。

今後も増殖・拡大が想定されますので、**餌止めなど慎重な養殖管理**をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン(cells/ml)

調査地点	水深	カレニア・ミキモトイ	ケラチウム属	シャットネラ属	ケイ藻類
鳴無	1m	8,000	12	53	わずか
	2m	2,400	4	15	わずか
	5m	2	0	9	わずか
中学校前	1m	32,000	24	41	わずか
	2m	19,000	13	61	わずか
	5m	11	4	8	わずか
	B-1	0	0	0	わずか
目ノクソ	0m	47,000	0	0	わずか
	2m	12,000	24	12	わずか
	5m	90	4	0	わずか
光松	0.5m	11,600	9	9	わずか
	2m	2,000	15	0	わずか
	5m	40	11	0	わずか
	B-1	0	0	0	わずか
大鹿	0m	10,400	2	1	わずか
	2m	12,000	8	10	わずか
	5m	640	4	2	わずか

漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ: 数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属: 10～100cells/ml(魚類へい死)
- ・ケラチウム属: 100cells/ml～(餌食いの悪化)

